



りすぐみだより



なでしこ保育所

令和6年12月

朝晩と肌寒さを感じる季節となりました。子どもたちは寒さにまけず戸外遊びを中心にいろいろな活動を楽しんでいます。砂場遊びでは、形の違う器を使って友達と一緒にご馳走をたくさん作って振る舞ってくれています。三輪車と車を組み合わせてレッカー車のようにして楽しむ姿も見られます。

10月から0歳児2名を迎え賑やかに過ごしています。1歳児は、お姉さんお兄さんらしさも見られるようになってきました。子どもたちとの応答的な関わりを今後も大切にしながら遊びを楽しんでいきたいと思っています。



いつも大人にしてもらっていることを、再現する遊びが盛んです。子供たちはお母さんや保育者になったつもりで寝かせたり、料理したりしています。お友だちと関わる姿も少しずつ見られるようになってきました。子ども同士の関わりを見守りながら一緒に遊び、楽しさや面白さを共有していけるように援助していきたいと思っています。



～ほっこりエピソード～

園庭で三輪車を連ねて走行していた時、前側ですんでいた友達が急に転んでしまいました。（倒れ方が上手く、怪我が無い様子だったので、保育者は少し離れたところからそっと見守っていました）転んだ子は泣かずに自ら起きようと頑張っていたところに後ろの友達が何も声をかけることなく、そっと三輪車を起こしてくれたのです。起こしてもらった子は、ペコリと頭を下げてお礼を伝えていました。まだ言葉で十分に気持ちを表現できませんが、お互いの想いはしっかり伝わっていたように思います。

～意欲を受け止めて～



子どもの心に「自分でやりたい」という思いが芽生えてきました。自ら着替えようとしていたり、靴下や靴をなんとか一人で履いてみようとしていたりする姿が見られます。コツをそっと知らせながら、できたときは一緒に喜ぶやり取りを重ねていきたいと思っています。



～おさんぽ～

1歳児は友だち同士で手を上手につないで歩いています。0歳児は、保育者と手をつなぎ、転ばずに歩いています。



お楽しみ会では 子どもたちのかわいい姿や成長をご覧いただけたらと思います。当日はいつもと違う雰囲気戸惑うこともあるかもしれませんが、温かい目で見守ってください。